

2022年10月11日

【新刊発売のご案内】

「カルチュラル・コンピテンシー」

共著：SIGNING チーフ・リサーチ・ディレクター 鷲尾和彦
ビジネス&カルチャーブック『tattva』編集長 花井優太

株式会社 SIGNING のチーフ・リサーチ・ディレクターである鷲尾和彦と、『tattva』編集長の花井優太が共同執筆を行った「カルチュラル・コンピテンシー」を出版しましたので、お知らせいたします。

【本書のご紹介】

「カルチュラル・コンピテンシー」は、異なる価値観、信仰、慣習、生活があることを前提に、主にソーシャルワーカーたちの間で用いられてきた言葉です。

個人が、文化・言語・人種・階層・民族的背景・宗教・その他の多様性を持つ人々に敬意を持ち対応していくそのプロセスは、医療領域だけでなく、文化的な価値や実装力を軸に展開される新たなビジネスの構想、地域資源を生かしあう生活圏とそのローカリティの涵養など、社会の中でより広く活かされていく発想であると私たちは考えています。

行きすぎた利益追及のゼロサムゲームで結果的にマーケットを干上がらせるのではなく、持続的に磨耗せずに市場を育てて行く方法はないのか？人間の営みにはまず「文化」が前提として存在し、そのユニークネスこそが不可欠ではないのか？サービス提供では、サービスを受ける側への文化理解が必要であり、尊重されるべきではないのか？そして既存のものを捉え直し、育てることで時代の流れに風化することのない営みの循環をつくり育てることの重要性。これらに焦点を当て取材した内容から新たな文化経済を生み出す方法知を探ります。



「カルチュラル・コンピテンシー」

著者：花井優太 鷲尾和彦

仕様：四六判 224 ページ

定価：2,200 円(税込)

発行：株式会社ブートレグ

発売日：2022年10月11日

本書紹介ページ（ブートレグ web サイトに飛びます）

<https://bootleg.co.jp/news/2022/09/18/cultural-competency/>

目次

- ・ コンピテンシーを育て、コンピテンシーが育てる世界に向けて 花井優太
- ・ 世界が抱える資源問題を解決する Spiber 株式会社
- ・ 地域課題を事業化する ヤマガタデザイン株式会社
- ・ 市民とともに育つアートセンター 山口情報芸術センター
- ・ 創造性を民主化する sitateru 株式会社 / VUILD 株式会社
- ・ デジタルノマドが作る新しい世界地図 武邑光裕
- ・ 生活圏に入り込む 株式会社良品計画
- ・ 地域が育てた美意識を掘り起こす 一般社団法人 富山県西部観光社 水と匠
- ・ 文化的生産を持続させる .science Inc./株式会社てしま企画
- ・ 民主主義の基盤としての文化 秋野有紀
- ・ まち全体を「生きた学びの場」に育てる 兵庫県芸術文化観光専門職大学/城崎国際アートセンター/豊岡演劇祭
- ・ 復興を捉え直し、生活を創出する 株式会社ワンテーブル
- ・ 市民の心に小さな変化を起こす 八戸市美術館
- ・ ダイバーシズムからトランスカルチュラルイズムへ オードリー・タン
- ・ 自己実現から自己「超越」へ 広井良典×花井優太
- ・ アートで育むプログラミング思考が社会を変える 脇田 玲×鷲尾和彦
- ・ 不確実な社会で生きるストリートの知恵 小川さやか×花井優太
- ・ コモンズをデザインするルール 水野祐×花井優太
- ・ なぜ今、「カルチュラル・コンピテンシー」か 鷲尾和彦

著者紹介

鷲尾 和彦（株式会社 SIGNING チーフ・リサーチ・ディレクター）

「文化経済」「生活圏」をテーマに、戦略コンサルティング、クリエイティブ・ディレクション、新規事業開発などで、産業界や地方自治体等との協働事業に数多く従事している。主な著書に『共感ブランディング』（講談社）、『アルスエレクトロニカの挑戦』（学芸出版社）、『CITY BY ALL ～生きる場所をともにつくる』（博報堂）等。プリ・アルスエレクトロニカ賞「デジタルコミュニティ」「ネクストアイデア」部門審査員。

共著者: 花井 優太（季刊誌『tattva』編集長）

1988 年生まれ。編集者。カルチャー誌やウェブメディア、企業のブランドブック制作などを経験したのち 2021 年にブートレグからビジネス&カルチャーブック『tattva』創刊。同誌編集長。企業のコミュニケーション領域のプランニングも行っており、エディトリアルをバックボーンとしながら、世の中の文脈にフィットまたは先見性を持った戦略、クリエイティブを得意とする。受賞歴に日経広告賞部門優秀賞、毎日広告デザイン賞準部門賞など。